

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



SSKP

いずみ

No.
162

2011年9月

* 社会福祉法人 泉会 *

法人本部 泉の家 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号
☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463
izumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/izumi/

日の出舎 〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番
☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205
info@hinodesha.org
http://hinodesha.org/

グループホーム いずみ 〒197-0825 あきる野市雨間322-12
☎☎042(550)9083
bwz12948@nifty.com

岡本福祉作業ホーム 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号
☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976
okamoto@izumikai.jp
http://izumikai.jp/okamoto/

岡本ホーム玉堤分場 〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号
☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433
tamatatumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/tamatutumi/



合同防災訓練での緊迫感ある AED の実演が行われました（玉堤分場）

●2011年度 いずみ会報聖句
「あなたの体のともし火は目である。目が澄んでいれば、あなたの全身が明るい。濁っていれば、体も暗い。だから、あなたの中にある光が消えていないか調べなさい。あなたの全身が明るく、少しも暗いところがなければ、ちょうど、ともし火がその輝きであなたを照らすときのように、全身は輝いている」
(ルカによる福音書11章34-36節)

実りの時、収穫の時を迎え今後とも皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

語り合いにより楽しい時を共有出来ると思っています。同世代だけに固まるのではなく、違う世代と深い・浅い関わりを持ち「社会との一体感」を感じる大切な場を持つことは重要です。嘆いても、明るく自分のペースで日々を大切にきちんと生きていく人に触れる心が和み、救われた気持ちになります。「難しいことはやさしく、やさしいことをより深く相手に伝える」ことを心掛けたいものです。

生きがいを高め、命を預かる福祉の作業に「上の空」は禁物です。自分の目の前にいる人に心を込めて接し、温かい思いを伝えるとその思いは人から人へと伝わって行く。人はどんなに辛くても未来に一筋の希望が見えると生きる力が湧きます。その「希望の光」になるのは人々の温かさでしょう。自分は多くの人に支えられているという社会への「信頼感」が大切です。年令に関係なく自分に向けられる優しい言葉や思いに誰でも反応します。

「日の出舎」の三階建て生活支援棟がその姿を現しました。利用者・職員は暑い中にも完成を楽しみながら日々を充実して迎えており、多くの方々に支えられて今日まで歩めることは誠に感謝です。人は聞きたいものだけ聞き、見たいものだけ見ると言われます。自分の意識を向け「聞こう」「見よう」とする対象物にしか集中できないようです。人の集中力には限界があり、聞こうとする意識をせず「上の空」で聞いても頭に入らない。人の生きがいを高め、命を預かる福祉の作業に「上の空」は禁物です。自分の目の前にいる人に心を込めて接し、温かい思いを伝えるとその思いは人から人へと伝わって行く。人はどんなに辛くても未来に一筋の希望が見えると生きる力が湧きます。その「希望の光」になるのは人々の温かさでしょう。自分は多くの人に支えられているという社会への「信頼感」が大切です。年令に関係なく自分に向けられる優しい言葉や思いに誰でも反応します。



理事長 橋向敏治

社会との一体感

事業計画収支計算書

泉の家（合算）（単位：円）	
就労支援事業活動収入	
就労移行支援	726,500
就労継続 B 型	2,606,261
就労支援事業活動収入計	3,332,761
就労支援事業支出	
就労移行支援工賃	425,521
就労継続 B 型工賃	1,360,457
当期材料費	1,372,136
その他の経費	174,647
就労支援事業活動支出計	3,332,761
福祉事業活動収入	
介護給付費収入	24,366,031
訓練費等給付費収入	13,927,189
利用者負担金収入	1,260,252
補助事業等収入	41,116,363
経常経費補助金収入	8,098,000
寄付金収入	254,750
雑収入	1,394,185
国庫補助等取崩額	12,887,403
福祉事業活動収入計	103,304,173
福祉事業活動支出	
人件費	56,378,970
事務費	37,139,184
事業費	5,788,971
減価償却費	17,423,095
引当金繰入	4,929,717
福祉事業活動支出計	121,659,937
事業活動外・特別収支収入	1,361,900
事業活動外・特別収支支出	980,136
当期活動収支差額	△ 17,974,000
前期繰越収支差額	30,092,127
当期末繰越収支差額	12,118,127
その他の積立金取崩額	0
次期繰越活動収支差額	12,118,127

		定員	現員
利用人数	生活介護	20 名	15 名
	就労移行支援	6 名	3 名
	就労継続 B 型	25 名	9 名
平均工賃	就労移行支援	16,656 円	
	就労継続 B 型	12,708 円	

玉堤分場（合算）（単位：円）	
就労支援事業活動収入	
就労移行支援	864,521
就労継続 B 型	2,548,018
就労支援事業活動収入計	3,412,539
就労支援事業支出	
就労移行支援工賃	645,829
就労継続 B 型工賃	1,894,487
当期材料費	683,767
その他の経費	188,456
就労支援事業活動支出計	3,412,539
福祉事業活動収入	
補助事業等収入	48,227,525
寄付金収入	5,000
雑収入	21,120
福祉事業活動収入計	48,253,645
福祉事業活動支出	
人件費	23,382,243
事務費	15,192,786
事業費	6,718,936
減価償却費	249,450
引当金繰入	874,173
福祉事業活動支出計	46,417,588
事業活動外・特別収支収入	490,283
事業活動外・特別収支支出	355,8197
当期活動収支差額	△ 1,231,857
前期繰越収支差額	5,632,816
当期末繰越収支差額	4,400,959
その他の積立金取崩額	0
次期繰越活動収支差額	4,400,959

		定員	現員
利用人数	就労移行支援	6 名	3 名
	就労継続 B 型	13 名	11 名
	就労移行支援	17,940 円	
平均工賃	就労継続 B 型	15,120 円	

* 利用者現員は 3 月 31 日

日の出舎・就労日の出舎（合算）（単位：円）	
就労支援事業活動収入	
授産事業（4 月～12 月）	7,781,645
就労継続 B 型（1 月～3 月）	
就労支援事業活動収入計	7,781,645
就労支援事業支出	
授産事業	4,986,870
就労継続 B 型工賃	
当期材料費	955,348
その他の経費	1,839,427
就労支援事業活動支出計	7,781,645
福祉事業活動収入	
介護給付費収入	124,303,100
訓練費等給付費収入	9,199,071
利用者負担金他収入	36,932,043
補助事業等収入	13,082,623
経常経費補助金収入	30,092,000
寄付金収入	681,940
雑収入	1,813,498
国庫補助等取崩額	3,190,340
福祉事業活動収入計	219,294,615
福祉事業活動支出	
人件費	96,004,114
事務費	38,546,039
事業費	30,898,643
減価償却費	8,027,080
引当金繰入	7,311,488
福祉事業活動支出計	180,787,364
事業活動外・特別収支収入	19,895,007
事業活動外・特別収支支出	19,967,555
当期活動収支差額	38,434,703
前期繰越収支差額	109,777,096
当期末繰越収支差額	148,211,799
その他の積立金取崩額	77,175,000
次期繰越活動収支差額	225,386,799

		定員	現員
利用人数	施設入所	50 名	48 名
	生活介護	50 名	48 名
	就労継続 B 型	20 名	24 名
平均工賃	授産事業	7,084 円	
	就労継続 B 型		

* 2011 年 1 月より新事業へ移行

岡本ホーム（合算）（単位：円）	
就労支援事業活動収入	
就労移行支援	0
就労継続 B 型	1,537,844
就労支援事業活動収入計	1,537,844
就労支援事業支出	
就労移行支援工賃	0
就労継続 B 型工賃	1,021,451
当期材料費	461,169
その他の経費	55,224
就労支援事業活動支出計	1,537,844
福祉事業活動収入	
補助事業等収入	118,826,746
寄付金収入	0
雑収入	1,426,857
福祉事業活動収入計	120,253,603
福祉事業活動支出	
人件費	79,914,371
事務費	16,751,991
事業費	12,524,083
減価償却費	1,291,380
引当金繰入	6,458,633
福祉事業活動支出計	116,940,458
事業活動外・特別収支収入	4,385,238
事業活動外・特別収支支出	1728004
当期活動収支差額	5,970,379
前期繰越収支差額	△ 812,214
当期末繰越収支差額	5,158,165
その他の積立金取崩額	0
次期繰越活動収支差額	5,158,165

		定員	現員
利用人数	生活介護	24 名	30 名
	就労移行支援	6 名	0 名
	就労継続 B 型	10 名	9 名
平均工賃	就労移行支援	0 円	
	就労継続 B 型	9,649 円	

2010 年度財務分析

財務指標	視点	決算数値 入力結果	分析上の留意点
<短期安定性>流動比率	短期安定性をみる指標	735.5%	100%を下回る場合は、資金繰りが悪化している状態。400%以上が望ましい。
<長期安定性>純資産比率	長期安定性をみる指標	87.0%	50%を下回ると、自己資本よりも負債が上回っている状態。
<コスト合理性>人件費率	コスト合理性をみる指標	56.9%	
<コスト合理性>委託費率	コスト合理性をみる指標	17.6%	
人件費率+委託費率	コスト合理性をみる指標	74.5%	85%を上回ると、当期活動収支差額が恒常的にマイナスになる傾向。
<長期安定性>固定長期適合率	長期安定性をみる指標	73.2%	固定資産は、純資産や固定負債で調達し、100%以下が適当。
<収益性>経常活動収支差額率	収益性をみる指標	5.2%	マイナスが複数年度に渡る場合は、要原因把握
<借入の割合>事業活動収入対借入金比率		0.0%	
労働分配率	コスト合理性をみる指標	84.4%	100%以上になると、限界利益以上の人件費を支出

本部（単位：円）	
福祉事業活動収入	
寄付金収入	2,700,000
雑収入	2,987,950
経理区分間繰入金収入	1,728,000
受取利息配当金収入	18,083
その他	0
福祉事業活動収入計	7,434,033
福祉事業活動支出	
人件費	55
事務費	4,112,139
事業費	0
経理区分間繰入金支出	1,314,322
福祉事業活動支出計	5,426,516
当期活動収支差額	2,007,517
前期繰越収支差額	33,998,880
当期末繰越収支差額	36,006,397
その他の積立金積立額	1,314,322
次期繰越活動収支差額	34,690,719

グループホームいずみ（単位：円）	
福祉事業活動収入	
利用料収入	3,621,788
補助事業等収入	13,627,671
福祉事業活動収入計	17,249,459
福祉事業活動支出	
人件費	0
事務費	11,143,658
事業費	6,106,797
福祉事業活動支出計	17,250,455
事業活動外・特別収支収入	996
事業活動外・特別収支支出	0
当期活動収支差額	0
前期繰越収支差額	250,000
当期末繰越収支差額	250,000
次期繰越活動収支差額	250,000

		定員	現員
利用人数		4 名	4 名

貸借対照表（法人合計）

資産の部			負債の部		
摘要	内訳	合計	摘要	内訳	合計
流動資産		320,385,525 (102,632,233増)	流動負債		43,558,474
現金預金	253,812,332		買掛金	0	
売掛金	1,471,181		未払金	26,671,314	
商品・製品	431,522		預り金	51,986	
原材料	100,506		仮受金	1,475	
未収金	62,888,760		賞与引当金	16,833,699	
立替金	750		固定負債		96,468,082
前払金	1,680,474		設備資金借入金	76,000,000	
その他の流動資産	0		退職給与引当金	20,468,082	
			他の固定負債	0	
固定資産		754,442,877 (26,966,602減)	負債の部合計		140,026,556 (46,987,632増)
基本財産			純資産の部		
建物	337,555,306		基本金		167,037,230
泉の家	261,973,308		国庫補助金等特別積立金		293,110,765
日の出舎	75,581,998		その他の積立金		192,649,082
土地	45,126,940		移行時特別積立金	69,652,934	
泉の家	5,050,500		授産移行時特別積立金	0	
日の出舎	40,076,440		その他の積立金	122,996,148	
他の固定資産	371,760,631		建設積立金	26,883,522	
建物	22,991,797		施設整備積立金	96,112,626	
構築物	20,968,001		次期繰越活動収支差額		282,004,769
機械及び装置	1,409,883		次期繰越活動収支差額	282,004,769	
車両運搬具	3,360,943		(うち当期活動収支差額)	27,206,742	
器具及び備品	31,469,657		純資産の部合計		934,801,846 (30,677,999増)
建設仮勘定	76,030,000		負債純資金合計		1,074,828,402 (77,665,631増)
権利	253,208				
移行時特別積立金	69,652,934				
その他積立預金	122,996,148				
他の固定資産	22,628,060				
資産の部合計		1,074,828,402 (77,665,631増)			

脚注	当年度末	前年度末
減価償却費の累計額	279,847,543円	270,384,062円

- 国が進めている 2013 年 8 月策定予定の「障がい者総合福祉法（仮称）は、障がい者が自ら生活している地域で当たり前の生活をするための地域福祉のあり方が中心課題となっています。
- 今、国や東京都の福祉政策も、自立支援給付ではケアホームとグループホームの設置と就労支援、地域生活支援事業では、ヘルパー等居住サポート事業の推進などの日常生活支援の充実が中心となっています。
- この様な状況の中、関係者のご支援とご協力の下、法人として以下の取り組みを行ないました。
- ① 経営理念・経営方針
- ・ 職員倫理綱領と行動規範の見直しをしました。
 - ・ 3 カ年計画を、コンサルタントの助言の下、職員が理解できるように見やすく整理しました。
 - ・ 泉会の次なる事業の検討をし、事業研究会を立ち上げました。
 - ・ 各施設の事業計画書等の項目を整理し、また、昨年策定した 3 ケ年計画を整理した事業戦略マップを完成させ、同時に事業計画の進捗状況を理解しやすくするため、事業計画管理シートを作成しました。
- ② 各施設の事業
- ・ 泉の家は新しい建物で、新しい利用者が多い中でのスタートとなりました。
 - ・ 日の出舎の施設改築（建替え）が認められ、2 月 3 日には工事着工となりました。1 月 1 日に「障害者自立支援法」のサービスマスターへ移行しました。
- ③ 地域とのつながり
- ・ 施設の事業を理解していただけるよう、地域の方やボランティアに施設行事等の参加・協力を求めると共に、各地域自治会の行事に参加し、地域との交流を深めました。
 - ・ 関係自治体や実施機関及び地域関係機関への連絡を心掛け、また、関係自治体が行う諸会議に参加する等、協調・連携に努めました。
- ④ 人材育成
- ・ 東京成城ロタリークラブと共催で「成城音楽祭」を成城ホールにて開催しました。
 - ・ 6 月に新人研修、11 月に法人理念研修を実施しました。
 - ⑤ 給与規定及び人事評価規程の見直しを進めました。
 - ・ 全職員の過去 3 年分の昇格昇給の検証を行いました。
 - ・ 新卒職員の給与格付等の検討をしました。
- また、法人の課題を早期発見し、改善に取り組み、財務状況、財務分析した結果、法人全体としては適正な状態にあることを報告いたします。（財務分析結果参照）

法人経営体力の強化

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一二年八月十二日発行（SSKP 通巻四八二四号）

二〇一〇年度事業報告

震災後の取り組み

東日本大震災が3月11日14時46分に発生。その数分後、今までに経験したことのない揺れを感じました。帰りの準備や作業をしていた利用者の安全確保や避難経路の確認、確保などを行い、すぐにテレビを付けて情報を収集し、ご家族や関係機関への連絡などの対応を行い、安全な状況を確認し送迎や帰宅をしました。利用者の無事をすべて確認できたのは、22時過ぎでした。職員の中にも帰宅できない帰宅難民が数名おりました。

週明けの月曜日からは、募金を集め義援金として被災地に送ろうと呼びかけました。また、大震災により原発の事故が発生し、節電を積極的に行うことを決めました。余震も頻ぱんに起きる状況があつたので、エレベーターの使用を中止し、安全にも配慮し、計画停電への対応をしながら活動しました。

支援物資輸送の報告

「全国セルプ」就労系福祉施設の協議会では、翌12日に「対応本部」を設置、3月28日には、支援物資輸送車両の提供、人員派遣をしました。「東京都セルプ」からの要請を受け、泉の家では積極的に協力する事を決裁し、岡本ホームに呼びかけ合同で職員2名、ボランティア1名で「東京都セルプ」の代表として、4月11日～14日に参加しました。「関東セルプ」が取りまとめた



陸前高田の被害

全国から集まった支援物資を岩手県社会福祉協議会の管理する倉庫に納めました。その後、事前に要請を受けていた陸前高田と大船渡にある施設4か所にも支援物資を届けました。訪問した施設は高台にあり津波の被害はありませんでしたが、震災から1ヵ月が過ぎているのに電話や水道など復旧ができていない状態でした。また、自分の生活の場所が津波被害を受けた職員や利用者は、住むところがなく施設で生活をしていました。



いただいたパウンドケーキとコメント

最終日に、ペットボトルの水を届けた陸前高田にある「あすなろホーム」では、被災されながら作ったパウンドケーキをプレゼントされました。施設長は、「どうにか作っても、生活していた町が津波被害に遭い販売するところが無くなってしまった」と話されていました。

法人としての取り組み

全国セルプ、東京都社会福祉協議会からは震災支援等をめぐり法人としての対策の問いかけもありました。施設長会、施設協議会で泉会として、何ができるかを話し合い、理事評議員会で法人としての取り組みをまとめました。

「被災地支援として、製品販売をする。

二、省電力化する。節電に取り組みむ。

二、に関しては、被災地域の施設は販

とを求めています。各事業所でもこの状況をうけ、対応を試みています。

泉会としては、週2日のノー残業デーを行うこと等を決定しました。

泉の家は火は木のノー残業デー。待機電力のコンセントをはずす。

岡本福祉作業ホームでは節約委員会設置（本園、分場）。

週2日のノー残業デー、網戸、壁掛け扇風機、よしずの設置等。

日の出舎は節電委員会設置。

利用者の健康面を配慮しつつ、エアコンの温度調節や各部屋や廊下の電気を引ききる等の対策等。

結びになりましたが今回の東日本大震災で亡くなられた方のご冥福をお祈りすると共に、行方不明になられた方の一日も早い発見とまた被災された多くの方々の生活が一日も早く復興することを心よりお祈り申し上げます。

（分部 頼文）



岡本民家園七夕祭り販売風景

売網が絶たれているため、被災地施設の自主製品を積極的に買取り販売することです。製品ができて売れる場所がない、そんな辛いことはありません。作っても販売されなければ収入にならないので、利用者の方のモチベーションの低下になります。大変に辛いことです。

製品を作る喜び。

売れる喜び。

収入を得る喜び。

被災された施設を、皆の力で元気にするのです。

7月10日に行われた、岡本民家園七夕祭りで、岩手県の被災地施設の製品販売をしました。

「みずきのだ塩サブレ」130円、「SELPわかたけ シュガーラスク」200円、「星雲工房 味噌クッキー」150円、「あすなろホーム ゆずクッキー」220円、各50個を買取り販売しました。

会場では東北派遣の報告を写真とともに、ホワイトボードにはり、お客様に見ていただきました。何人もの方が沢山購入してくださいました。販売会には、「関東セルプ」の幹事や「東京都セルプ」の事務局の方がいらつしやうて販売の様子をごらんになりました。

今後は、9月10日のオープンザ・ドアや9月29日に実施予定の二子玉川ライズにて「ライズ障害者フェスタ2011」での販売を予定しています。その他、各事業所でも積極的に販売会などで被災地への応援をしています。8月20日に「東日本大震災復興支援世田谷の集い」に参加しました。又、

被災地支援に関しての、各施設の取り組み

泉の家では、被災地施設の製品を買い取り、販売会で販売しました。

岡本ホームでは、宮城県の施設の製品を販売しており、その製品の買取りの際に、募金額の寄付金を加算して支払いました。

泉の家、岡本ホーム、玉堤分場で集めた被災地募金を世田谷区に預け、日の出舎も被災地募金を日の出町に預けました。

節電に関しての、各施設での取り組み

二、の省電力化に関しては、厚生労働省は、福祉施設でも15%削減するこ



迫真の演技の緊急救護訓練



本番さながらの訓練

また、施設としても、てんかん発作の緊急対応をテーマに所内研修を実施しました。発作を起こした利用者への対応以外に救急車の呼び方、他の利



グループホームの駐車場にて

今年度の事業計画には、皆さんの地域貢献への意識が、更に向上していけるよう、地域活動に参加するだけでなく自分たち独自の積極的な活動をしていこうと話し合い、日頃運動に利用している



道路清掃頑張っています

(細谷 末子)



泉の家だより

暑い時には

まだまだ厳しい暑さが続いています。今年の夏も本当に暑かったと思います。早い梅雨明けと気温の上昇、それに節電対策と、夏バテの材料も揃っていました。

でも、泉の家ではある物のおかげで夏を乗り切る事が...。少し前になりましたが、生活介護で梅もぎに行きました。これは世田谷区地域生活課からお誘いいただいた、砧公園内の梅園での梅もぎで、泉の家以外にも数施設が参加していました。

当日は蒸し暑い日でしたが、



青い梅はいい香りがしました

日の出舎だより

アナログからデジタルへ

2011年7月24日をもって一部の地域を除き、アナログ放送から地上デジタル放送に切り替わる中、日の出舎でも地上デジタル対応のテレビを



地デジになって画像がきれいになりました

を購入していない利用者に対して、購入の支援を行いました。デジタル放送の意味が分からない利用者もあり、その内容を購入していい利用者に対して、購入の支援を行いました。アナログの放送と比べると画面がきれいに映ることに喜んで利用する人も多く見られました。また番組表が見られることや、時間が表示されていることでも便利になったという声も聞かれています。

PS.「祝、三連覇」今年も自衛消防技術大会・消火器の部に参加し、見事、優勝を果たしました。(加藤 圭介)

岡本ホームだより

お化粧して大変身!

岡本ホームの利用者が普段お化粧をしている方は少ないの

て、手分けをして洗浄とヘタ取りを行いました。実際にジュースになるまでは、詰めた瓶を見ても「ほんとにそんな簡単に出来るの?」と皆半信半疑。しかし日に日に氷砂糖が溶け、梅が液体に浸っていく様子を見ると...

(本田 羽瑠香)

ですが、以前から「お化粧をしてみたいけどやり方がわからない」、「出かける時や習い事の時に化粧をしてみたい」という声があがっていました。お化粧ボランティアを探していたところ、昨年12月よりお化粧ボランティアとして浅井佑子さん、伊佐妙子さん、森崎千鶴さんにお越し頂けることになりました。

いつも優しく、そして丁寧な言葉で接して下さるので、お化粧だけでなく言葉遣いや身のこなしも意識する利用者も少なくありません。お化粧を希望する利用者は女性の方だけでなく男性の方もいて毎回人気です。ボランティアの方が利用者一人一人に化粧水パック、ファンデーション、口紅、アイシャ



お化粧水パックでお肌ツルツル!

ドー、チークをしてから最後にヘアセットをして下さいます。利用者が化粧の最中に口紅やアイシャドーの色をボランティアの方と相談している姿はとても楽しそうです。男性は化粧水パックと蒸しタオルでリフレッシュすることが多いのですが、中には流行りの「韓流メイク」に挑戦する利用者もいます。化粧パックした後は「お肌がツルツル!これが自分の肌?」と驚く人もいます。お化粧した後はみな、優しく朗らかな表情になります。笑顔になる人、少し恥ずかしそうに作業場に戻る人もいます。利用者、職員もお化粧した利用者を迎える楽しみがあります。

(有馬 恵子)



どの色の口紅にしようかな?

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇一一年八月十二日発行（SSKKP通巻四八二四号）

縁あつて泉会

ボランティア

高倉 節子様

Q「岡本福祉作業ホームでボランティアを始めたきっかけは何ですか？」

区報でボランティア募集の広告を見つけたのがきっかけです。他施設でもボランティアをしていたのですが、その施設が家より遠いため、近い場所での活動の場を探していました。

Q「なぜ身体障がい者施設がよかったのですか？」

私は長い間、相談活動や様々な施設でボランティア活動をし、多くの方と出会いました。特に現役の仕事と離れてからは、自分の時間と、活動の場所を考え、無理なく、定期的に活動できる所を探していました。そして、岡本福祉作業ホームと出会いました。以前から、身体障がい者の支援に関心を持っていたので、ここでの仕事は、ぴつ

たりでした。

Q「以前にはどのような活動をしてこられたのですか？」

老人ホームや精神障がい者復帰センターでの支援、または未婚の母の相談業務や重度の身体障がい児者のサポートなどを行ってきました。最近では、障がい者センターでのパソコン教室のアシスタントのボランティアもしています。

Q「ボランティアを始めたきっかけは何ですか？」



楽しくパソコン入力しています。

私は以前、カトリックのイグナチオ教会に所属していましたがカトリックの教えを広めるためにも、福祉的な活動をしようと考えました。そこで、当時、教会に所属する三人の学生と一緒にボランティアグループを立ち上げました。活動期間は一年でしたが、ここで多くのことを学ぶことができました。

Q「今後の意気込みを教えてください」

ボランティア活動を通し、福祉の仕事の奥深さ、難しさを学ぶことができました。もちろん、今後とも障がいを持った方たちの役にたきたいと思っています。また、この思いと同時に、今後とも、障がい者問題や、ソーシャルワークの研究も深めていきたいとも考えています。

紹介

高倉様は平成16年7月より岡本福祉作業ホームのパソコンボランティアとして携わっていただいています。

発行所 障害者団体定期刊行物協会 領価五十円
東京都世田谷区砧六の二六の二一
編集人 社会福祉法人 泉会

泉の家『プース・カフェ』



軽食をはじめました

- ・カレーライス…………… 600円
- ・ハヤシライス…………… 600円
- ・パスタ各種…………… 600円

プラス150円でドリンクセットにできます。

その他季節メニューもあります。



製品紹介